

### 移動式PCR検査施設 災害時活用へ協定

県・徳大・ジェイテクト



県立中央病院に配備された移動式PCR検査施設II（ジェイテクト提供）

大規模災害時に被災者が集まる避難所などで迅速に新型コロナウイルスの検査を行い、感染拡大を防ぐこと、県が移動式PCR検査施設を導入した。共同開発した徳島大、自動車部品メーカー「ジェイテクト」（名古屋）と24日、利用などに関する協定を締結した。施設は広さ約12・5平方

メートルのトレーラー型で、けん引して移動できる。除圧設備のほか、外部で採取された検体を対面することなく受け渡す小型ドアが付いている。内部にはPCR検査装置があり、その場で感染の有無が分かる。平時は県立中央病院（徳島市）に置いて患者のPCR検査に活用し、災害時に移動式PCR検査施設を移した。徳島市の県総合健康センターで開かれた締結式には飯泉嘉門知事と徳島大の野地澄晴学長、ジェイテクトの林田一徳常務役員が出席し、協定書を交わした。（乾栄里子）

令和2年12月25日 [徳島新聞]

### ドアハンドルを自動殺菌 日本フネンが装置開発

マンション玄関ドア製造の日本フネン（吉野川市）は新型コロナウイルス禍を受け、ドアの取っ手を深紫外線で殺菌する装置を開発した。人が出入りした後、深紫外LEDが自動で光を照射し、病原性大腸菌などを殺菌できるほか、新型コロナウイルスを不活化させる効果が見込める。装置を備えたドアの年内の販売開始を計画している。

#### 深紫外LED照射

装置（縦約75センチ、横55センチ）は深紫外LEDや人感センサー、青色LEDを備え、ドアの内側と外側にある取っ手付近に取り付ける。新型コロナウイルスの不活化効果が確認されている日本化学工業（阿南市）製の深紫外LED



取っ手を自動で殺菌するドアの試作品。吉野川市の日本フネン

りした後、菌が付着しやすい指先が触れる取っ手の裏側に深紫外LEDで60秒間照射する。深紫外線は至近距離で直射すると目を損傷する可能性があることから、ドア前が無人であることをセンサーで確認して光を放ち、人が通れば停止する。照射中は青色LEDが光り、一目で分かるようにした。徳島大大学院の馬渡一論

講師（予防環境栄養学）らが効果を検証したところ、風邪の原因となるヒトコロナウイルスが附着したハンドルに60秒間光を当てると、99%の不活化を確認した。ヒトコロナと新型コロナウイルスは構造がほぼ同じであるため、新型コロナウイルスへの効果も見込めるといっている。今後1年間で勝手口や非常階段などマンション100棟への導入を目指す。ビルや病院、ホテルなどへの利用も見込んでおり、将来的には主力である玄関ドアの開発を進める。内閣府の地方大学・地域産業創生事業の助成金450万円を活用し、日本フネン、徳島大、県立工業技術センターが共同研究している。担当者は「安心安全で快適に暮らせる環境を提供していきたい」と話している。21日に開幕する徳島ビジネスチャレンジフェスティバルに試作品を展示する。（粟田俊哉）

令和3年10月14日 [徳島新聞]

### 移動式PCR施設 設置

県中央病院 あすから試験稼働



県が導入した移動式PCR検査施設II 徳島市の県立中央病院

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、県立中央病院（徳島市）にトレーラー型の「移動式PCR検査施設」を設置し、17日から8月末まで試験的に稼働させる。

施設は12平方メートルで、ウイルスを外部に流出させない「陰圧」設備が施されている。検体内のウイルスを不活性化させるなどの事前処理を行う装置や、ウイルス特有の遺伝子を増やして検出する「全自動遺伝子解析装置」などを完備。検査の全行程をトレーラー内でできるようにしている。救急搬送者や患者に手術が必要な人ら、緊急性の高い重症患者が対象。通常より大幅に短い1時間15分程度で検査結果が出るため、医療従事者の負担軽減にもつながる。トレーラーはもとより、研究作業用の施設として徳

### 移動式PCR検査施設 20年度中に運用開始

県方針

3日の県議会目録例案。抗感染力が強い新型コロナウイルスを媒介する施設を備える。本年度中に運用を開始する。徳島大、自動車部品メーカー「ジェイテクト」と共同で、移動式PCR検査施設を開発し、災害時に被災者が避難する避難所や、移動の遅い高齢者などの活用を想定している。岩元正史氏（自民）の質問に対し、飯泉嘉門知事は

### ふるさと納税 返礼品拡充

県、調達費25%に引き上げ

「県民が安心して社会活動する目標を掲げている」との趣意として用いることができるよう、現地の迅速な検査が可能な体制を整えることと述べた。高井美穂氏（新風）は「ま」はワクチン接種への対応をたじた。仁井谷典史と保健福祉部長は「国は来年前半までに全国民分を確保を、感染収束後は地方創生」の趣意として用いることと述べた。知事は「知事室の個室を備えた施設になること」を始めた。大分県がイベント開催により地域活性化を図る必要がある。地域団体や周辺市町の理事員らと意見交換し、方向性を検討したいとした。（乾栄里子）

令和2年12月4日 [徳島新聞]

令和2年7月16日 [徳島新聞]







# 「Tライン」マップ更新停滞

## 沿岸部・吉野川沿い サイクリングコース



転落防止策が傾いているのを確認する県職員。2021年7月、鳴門市里浦町里浦

サイクリングを楽しんでもらおうと、県が沿岸部と吉野川沿いで設定しているコース「Tライン」のマップ更新が遅れている。当初は2020年度にも更新する構えだったが、昨年12月時点でめどが立っていない。県は、実地調査の結果や関係者が

## 県「調査結果精査、ルート変更も」

らの提案を精査するのに時間がかかっていると説明している。Tラインは全長約350キロ。見晴らしが良く起伏が少なく、初心者でも楽しめるコースとして12年度に設定した。折り畳めるマップ（縦84センチ、横60センチ）も作っている。マップには道の駅や公園などの拠点施設のほかに、交通量が多かったり迷いやすかったりする場所を記載している。最後の更新は17年3月。県はマップの更新に向け20年度、徳島大にTラインの実地調査を依頼。徳島大は同年10月、21年3月に学生や教員らが自転車5日間走って調べ、写真、ポットや路面損傷箇所、障害物などをまとめた報告書を県に提出した。

ただ、3月に届いたため、県立つような更新を断念。さら

に調査に関わる関係者が増えたことで、「マップが大き過ぎる」「コース通りに走れない地域がある」など、県への助言や提案が増えた。

令和4年1月4日 【徳島新聞】

スイス製薬大手と 県、徳大が協定締結

循環器病へ対策

県と徳島大、スイス製薬大手の日本法人ノバルティスファーマ（東京）は10日、スファーマ（東京）は10日、心筋梗塞や脳卒中など循環器病の発症や重症化を防ぐための連携協定を結んだ。3者は循環器病につながる生活習慣病の予防啓発や医療従事者の教育、それぞれが持つノウハウを生かした研究などに取り組む。

県は同日、ホームページに啓発用の動画などを掲載した。詳細な活動内容は今後決める。

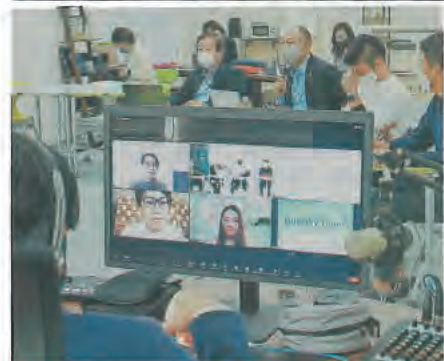
令和3年11月11日 【徳島新聞】

## 先輩起業家が助言

### オンラインで50人参加

## まちごとファクトリー

地域での起業や担い手の育成を支援する「まちごとファクトリー」（徳島大、徳島新聞社、県信用保証協会主催）の実践塾が20日、オンラインで行われた。徳島大常三島キャンパスからビデオ会議システムを使って配信され、学生や社会人約50人が先輩起業家から事業立ち上げのアドバイスを受けた。



起業家らが新規事業立ち上げについてアドバイスした実践塾＝徳島市の徳島大常三島キャンパス

と、美馬市で複合施設の運営などに携わるナカガワ・アド社長の中川和也さん（48）が起業の経験を説明した。

住友さん（会社員を経て、広島県呉市豊町の地域おこし協力隊となり、特産品を）

使ったクラウドファンディング。一地区の起業家を始めた。古里の阿南市にUターンし、9月に醸造所を開いた。「あなたにやりたいことは、あなた自身ができない。自信を持って一歩を踏み出して」と呼び掛けた。

中川さんは、自社の印刷工場を改装した施設を活用して飲食や宿泊サービスの提供、コーキッキングスペースやイベントの運営を手掛

令和3年11月21日 【徳島新聞】

## 経営者、起業の要点説明

### オンラインで40人学ぶ

## まちごとファクトリー

地域での起業や担い手の育成を支援する「まちごとファクトリー」（徳島大、徳島新聞社、県信用保証協会主催）の実践塾が11日、オンラインであった。徳島大常三島キャンパスからビ



コロナ禍に立ち上げた新事業について説明する高畑社長＝徳島大常三島キャンパス

デオ会議システムで配信され、学生や社会人約40人が経営者から新規事業立ち上げの要点を学んだ。

スタートアップの発案から始めたテイクアウトや雑貨販売などの新店舗を紹介し、「私たちのミッションは幸せと感動を届けること。日常の中でも感動や出会いのあるビジネスを続けていく」と話した。

起業を目指す受講者に向けて、提供するサービスや商品に対する自信と愛情、市場優位性の大切さを説き、「絶対に実現させるといふ情熱と行動力が成功には欠かせない」と訴えた。

受講生による事業アイデアのプレゼンテーションもあり、高畑社長らが実現に向けてアドバイスした。

（橋本真珠）

令和3年12月11日 【徳島新聞】



# ロジカルオミクス(石井)大賞

アイデアはi-GIP2021徳島(徳島)



## ロジカルオミクス(石井)大賞

徳島県立徳島大学で、ロジカルオミクス(石井)大賞の授賞式が行われた。授賞式には、徳島県立徳島大学の学生、教職員、関係者約100人が参加した。授賞式では、最優秀賞に中井さん(徳島大学)が選ばれた。中井さんは、地産地消やオーガニックといった利用者の要望に応じた食材を提案したり、サプリメントを配達したりするアイデアを提出した。

ロジカルオミクス(石井)大賞は、徳島県立徳島大学の学生が、地産地消やオーガニックといった利用者の要望に応じた食材を提案したり、サプリメントを配達したりするアイデアを提出し、最優秀賞に選ばれた。授賞式では、中井さんが最優秀賞を受賞した。中井さんは、地産地消やオーガニックといった利用者の要望に応じた食材を提案したり、サプリメントを配達したりするアイデアを提出した。

令和4年1月19日 [徳島新聞]

徳島ニュービジネス協議会は、徳島大の学生によるビジネスプラン発表会を徳島市のアマコビルにある徳島インベージョナリースペース(T1B)で開き、最優秀賞に、食に関するアプリを開発するプランを提案した徳島大医学部3年の中井沈我さん(21)を選んだ。

## 徳大生のビジネスプラン発表会 最優秀賞に中井さん

中井さんが開発した「ロジカルオミクス」は、地産地消やオーガニックといった利用者の要望に応じた食材を提案したり、サプリメントを配達したりするアイデアを提出した。授賞式では、中井さんが最優秀賞を受賞した。中井さんは、地産地消やオーガニックといった利用者の要望に応じた食材を提案したり、サプリメントを配達したりするアイデアを提出した。

令和3年5月11日 [徳島新聞]

廃棄物や不要品を価値の高い物に生まれ変わらせる「アップサイクル」の手法を取り入れた藍染製品の販売などを行う会社「INDEEGO(インディーゴ)」を、徳島大の学生が設立した。販売しているのは、間伐材を原料にした布を使った藍染のハンカチ。代表の安藤悠馬(はるま)さん(21)＝理工学部3年＝は「商品をきっかけに環境問題にも目を向けてほしい」と期待している。

## 間伐材で藍染ハンカチ



仕上がりをチェックする安藤さん(右)とハンカチを染める松林さん＝徳島市の藍染工房

会社設立は、起業体験 松林永希さん(19)と入成 成也さん(20)が中心となり、徳島大で会社を立ち上げた。8 徳島市の藍染工房の産業界との連携の一環。安月末から事業内容を考 品作りを始めて10月に、松林さんは同じ藍染を受け、ウェブサイトでオンラインショップを立ち上げ、総売上額1年分のマークも自分たちで作成した。

## 徳大生2人が販売会社



オンラインショップで販売しているインディーゴの商品。ハンカチは、間伐材を原料にした布を使った藍染のハンカチ。代表の安藤悠馬(はるま)さん(21)＝理工学部3年＝は「商品をきっかけに環境問題にも目を向けてほしい」と期待している。

令和3年11月21日 [徳島新聞]

大学の教員や学生らが研究、開発した技術を使って超える「大卒後ベンチャー」が全国的に増加を続けている。徳島大も2016年度から設立や育成に力を入れ、増加率は上位に位置する。産業界との連携など、独自の強みを生かした新発案創出への取り組みや、成長段階に合わせた企業を紹介する。

大学	増加率(%)	企業数(増加数)
1 慶応義塾大	270.0	111(61)
2 立命館大	40.0	28(8)
3 千代田大	36.4	30(8)
4 東京工業大	32.7	38(23)
5 筑波大	28.1	146(32)
6 早稲田大	25.7	88(18)
7 名古屋工業大	20.7	35(6)
8 京大	20.5	323(55)
9 東大	19.8	145(24)
10 文京大	19.3	158(27)
11 京産大	18.0	222(31)
12 京大	16.5	105(18)
13 北陸大	12.5	54(10)
14 北陸大	11.4	39(4)

## 徳大発ベンチャー好調

増加率全国3位 20年度。設立・育成 支援策奏功。徳島大のベンチャー企業 増加率は増加を続けている。徳島大も2016年度から設立や育成に力を入れ、増加率は上位に位置する。産業界との連携など、独自の強みを生かした新発案創出への取り組みや、成長段階に合わせた企業を紹介する。

設立・育成 支援策奏功。徳島大のベンチャー企業 増加率は増加を続けている。徳島大も2016年度から設立や育成に力を入れ、増加率は上位に位置する。産業界との連携など、独自の強みを生かした新発案創出への取り組みや、成長段階に合わせた企業を紹介する。

## ゲノム編集の育種研究



マウスの受精卵をゲノム編集する研究者 徳島市のセツロテック本社

ゲノム編集の育種研究。ゲノム編集技術は、従来の育種よりも短時間で品種改良が可能で、食料や医療の分野で大きな期待を寄せられている。徳島大の研究者らが、マウスの受精卵をゲノム編集する研究を進めている。

## 食用コオロギ市場開拓



食用コオロギの市場開拓 徳島市

食用コオロギ市場開拓。コオロギは、タンパク質が豊富で、環境にも優しい食材として注目を集めている。徳島大の研究者らが、コオロギの市場開拓に取り組んでいる。

令和3年9月5日 [徳島新聞]